

■全数把握対象疾患(結核を除く)

四類感染症の**E型肝炎** 1 人(感染地域:国内)の報告がありました。

五類感染症の**ウイルス性肝炎** 1 人(病型:C型)、**侵袭性肺炎球菌感染症** 1 人の報告がありました。

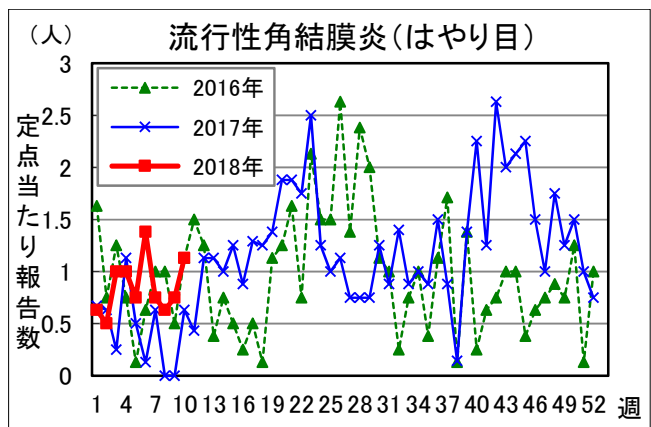
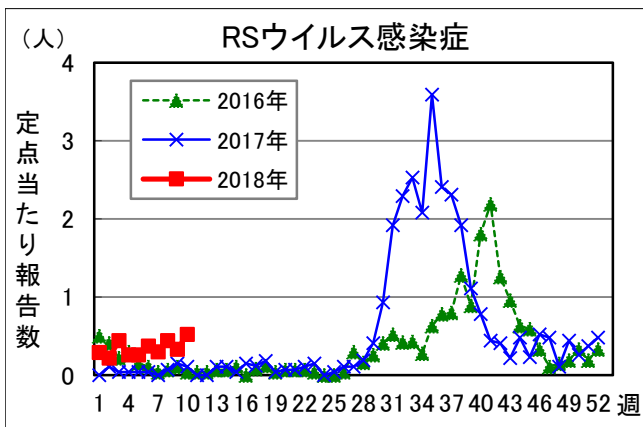
★インフルエンザが流行しています!

■定点把握対象疾患

**インフルエンザ**の定点当たり報告数は、先週の 12.83 人から 6.37 人(報告数 261 人)と減少しました。しかし、流行の目安となる「定点当たり 1 人」を超えている状況で、流行は継続しているとみられ引き続き注意が必要です。ウイルス検出情報などの詳細は、別紙「さいたま市インフルエンザ週報」をご覧ください。

**RSウイルス感染症、水痘、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎**の報告が増加しました。**RSウイルス感染症**は 2006 年以降の同時期と比較して最も多い状況です。

**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の報告が多い状況です。



■定点当たり報告数表(第10週 3月13日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	6.37	↓	★
RSウイルス感染症	0.52	↑	★
咽頭結膜熱(プール熱)	0.22	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.44	→	★★
感染性胃腸炎	6.04	↓	★
水痘(みずぼうそう)	0.26	↑	★
手足口病	0.00	→	★
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00	↓	★
突発性発しん	0.56	↑	★

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
ヘルパンギーナ	0.00	→	★
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.11	↑	★
急性出血性結膜炎	0.00	→	★
流行性角結膜炎(はやり目)	1.13	↑	★★
細菌性髄膜炎	0.00		報告数が少ないため表示せず
無菌性髄膜炎	0.00		
マイコプラズマ肺炎	0.00		
クラミジア肺炎	0.00		
インフルエンザによる入院患者	4.00		
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00		

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい ←★、★★、★★★→ 大きい)

★食中毒にご注意を!

暖くなるこれからの季節、まだ寒さも残るため食品の管理がおろそかになりがちです。食中毒予防のため、調理したものはすぐ食べてしまうか、放置せずに冷蔵庫で保存しましょう。また、生野菜などの食材はよく洗い、お肉は中心部までよく加熱しましょう。



☆さいたま市病原微生物検出情報(月報)2018年2月号をホームページに掲載しています。

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2018年第10週 平成30年3月5日～3月11日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	261	6.37	-	3	9	13	13	20	14	15	30	13	6	29	15	6	9	28	19	7	8	4
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-						
RSウイルス感染症	14	0.52	5	3	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	6	0.22	-	-	1	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	2.44	-	-	-	3	1	11	8	8	12	8	6	6	-	3						
感染性胃腸炎	163	6.04	-	7	16	10	19	17	22	18	10	14	7	13	3	7						
水痘	7	0.26	-	-	1	1	-	-	1	1	-	1	1	1	-	-						
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	15	0.56	-	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	3	0.11	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-						
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	1.13	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	1
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザによる入院患者	4	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況…  : 警報レベル、  : 注意報レベル

3月 13日 13:00 集計

## 全数把握対象疾患届出数(2018年)

類型	疾患名	2018年 第10週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2	疾患名	2018年 第10週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	1	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	40				
四類	E型肝炎	1	1	0	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	3	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	2	12
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	0	2	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	3	16	水痘(入院例に限る)	0	0	4
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	1	6	先天性風しん症候群	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	3	7	梅毒	0	3	67
	急性脳炎	0	8	20	播種性クリプトコックス症	0	0	2
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	8	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	2	8	百日咳 ※4	0	5	
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	10	麻しん	0	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	12	29				
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません。							
指定感染症	該当する疾患は、現在のところありません。							

※1 累計は診断日で集計しています。

※2 2017年累計は速報値となっています。

※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。

※4 感染症法施行規則の一部改正により、2018年1月1日から全数把握対象疾患となりました。